

国立大隅青少年自然の家における新型コロナウイルス感染防止対策

令和4年7月20日
国立大隅青少年自然の家

1 利用者をお願いすること。

- (1) 研修室等を利用する場合は、定期的に換気して極力密閉空間を避けてください。
 - ※ 換気の目安は1～2時間に5分～10分程度です。
 - ※ 2つの窓を同時に開ける等の対応をお願いします。
- (2) 宿泊室退所時及び研修室等利用後は、清掃の最後にアルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液で机・イス等利用者が触れたところ（テーブル・背もたれ・ドアノブ・スイッチ類・蛇口・手すり等）を中心に消毒を行ってください。
 - ※ 清掃は消毒液を使い捨てシートに吹き付けて行ってください。（消毒液を機器等に直接吹きかけない。）
 - ※ 清掃用消毒液・使い捨てシート・手袋は事務室にて貸し出します。
 - ※ トイレの清掃は職員が行います。
 - ※ トイレを使用する際は、フタを閉めて汚物を流すように指導してください。
 - ※ トイレの混雑が予想される場合は、間隔を開けて（2m）整列してください。
- (3) 活動中は、人の密度を下げるようご配慮ください。
- (4) 近距離での会話や発声、高唱を避けるようご配慮ください。
- (5) 利用者の咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を励行してください。
- (6) 利用者が次に該当する場合は、施設の利用を禁止します。
 - ・37.5度以上の発熱
 - ・平熱比+1度以上の発熱
 - ・息苦しさ（呼吸困難）
 - ・強いだるさ
 - ・咳
 - ・咽頭痛
 - ・その他体調が優れない場合
 - ・過去2週間以内に、感染が引き続き拡大している国・地域へ訪問したことがある場合
- (7) 利用者については、必ず入所時まで・就寝前・朝の3回（1日利用は入所時まで）の検温と健康状態の確認をお願いします。なお、体温計につきましては、利用団体でご準備ください。（健康チェックシートへの記入をお願いします。）
 - ※ 検温と健康状態の確認は団体の代表者が行い、何か異常があった場合は直ちに事務室までご連絡ください。また、傷病者の搬送手段等につきましても、事前に検討しておいてください。
- (8) 宿泊の場合、枕カバー・シーツを適切に使用してください。
- (9) マスク・手指用消毒液は、可能な限り利用団体でご準備ください。

2 施設運営上の留意点について

- (1) つどいについて
本所が実施する朝・夕のつどいについては、当面の間は中止とします。ただし、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、本所が実施可能と判断した場合は、感染防止対策を行ったうえで再開することとします。
- (2) 研修室及び宿泊室の提供について
研修室は席の間隔を1～2m確保し、対面としないようにします。
また、宿泊室は定員の約半数で部屋割りをしますので、2段ベッドには1つおきに寝るなど、間隔を十分にとるようご配慮ください。
- (3) 食事の提供
 - ※ 1テーブルの人数を原則3人とします。ただし、利用団体から申し出があった場

合は、この限りではありません。

※ 原則として、食堂従業員による配膳方式で食事を提供します。

※ レーンに並ぶ際を含め、食べる時以外は、唾液等の飛散防止のため、マスクの着用をお願いします。

※ 食事中は、黙食の徹底をお願いします。

(4) 風呂の提供

1回に入浴する最大人数を大浴場が30人程度、中浴場が20人程度とします。原則、団体単位で入浴時間を設け、30分単位で調整します。